

吉見百穴と 川幅日本一



周辺情報

桜(一本松橋付近、百穴前の桜堤、下沼公園、岩鼻運動公園)と梨の花は4月にみごろとなります。梨狩り(東松山市東平)は9~10月です。

箭弓神社(やきゅういなりじんじゃ)ぼたん園、東松山ぼたん園のみごろは4月下旬です。

川幅日本一の付近には、コスモスとポピーの花畑があります。コスモスは10月、コスモス祭りがあります。ポピーは4月です。鴻巣市側ポールの近く、1000万本、12.5ヘクタール日本最大だそうです。

苺狩り(道の駅)は2~5月で、土日のみ開園、当日整理券を配布、予約はできません。

[⇒吉見町観光マップ](#)

[⇒川幅日本一\(鴻巣市\)](#)

[⇒鴻巣市観光協会\(飲食店情報、サイクリング・コースなど\)](#)

[⇒吉見百穴付近の地図\(Yahoo\)](#)

交通

池袋駅→(東武東上線で54分)→東松山駅

東松山駅→(川越観光バスで20分)→御成河岸バス停

鴻巣駅→(川越観光バス)→御成河岸バス停

「免許センター行き」バスに乗り、川幅日本一に行くならば「御成河岸」で降ります。

このバスは吉見百穴(百穴入口)、道の駅(比企吉見農協)も通ります。

[⇒東松山駅発・免許センター行き・バス時刻表](#)

※元気のある方はバスを使わないで東松山から歩いてもいいと思います。

※吉見町巡回バスで道の駅に行く方法もあります。

[⇒巡回バス西コース/森林公園駅から](#)

[⇒巡回バス東南コース/北本駅から](#)

[⇒巡回バス北西コース/吹上駅から](#)

マイカーでいかれるならば関越道の東松山I.C.から

車は国道27沿い、道の駅・いちごの里よしみに駐車してください。有料でかまわなければ東松山駅付近にコインパーキングがあります。

[⇒吉見百穴周辺の地図](#)

順路

[吉見百穴コース]

東松山駅→下沼公園→松本町1丁目緑地→東松山市ウォーキング・センター→市野川桜堤→吉見百穴→石室観音→不動橋→八幡橋→岩鼻運動公園(陸上競技場)→東松山野球場→一本松橋→諏訪公園→東松山駅

[川幅日本一コース]

東松山駅→(バス)→御成河岸バス停→川幅日本一(鴻巣市)→川幅日本一(吉見町)→道の駅→天神沼→大沼→松山城址→東松山駅

下沼公園、松本町1丁目緑地

今日は、東松山駅近辺のサクラのスポットと見学し、ついでに史跡を見ていくコースです。今回は行きませんでした。4月下旬ならば、ぼたん園や梨園のある方向に散策するのが良いと思います。



東松山駅』 さあここからスタートです。駅ビル内の2Fに観光案内所があります。ここでハイキングコースのマップをいただいてから出発すると良いでしょう。



シダレヤナギ(下沼公園)』 大通りからこの公園に行く入口は少し分かりづらいです。標識などはありません。郵便局の横、わきの道に入ります。どうもこちらは裏口扱いのようです。





『シダレヤナギの花』 シダレヤナギを街路樹にしている場所は少なくなったように思います。江戸時代は街路樹として一般的だったそうです。時代劇のセットでよく用いられますよね。幽霊の背景とか。



シダレヤナギの幹





シダレヤナギの葉



下沼公園



桜(下沼公園)』 品種名はわかりませんでした。大衆的な公園は大抵ソメイヨシノですがここは玄人的な雰囲気を感じられます。



ヒヨドリ(下沼公園)』 おいしそうに花の蜜をなめていました。花の蜜でお腹が一杯になるとは思えないのですが、鳥たちにとっては季節の味わいなのでしょう。鳥たちは高度な知性をもっているので複雑な味覚／香りを感じることができるのかもしれません。





東松山市ウォーキング・センター



松本町1丁目緑地』 いかにも固い名称です。血税ですてきな公園を作ったのだからもっと親しみやすい名前を公募したら良いのではないのでしょうか？ 姉妹都市、オランダのキューケンホフ公園からいただいたチューリップを植栽しているそうです。みごろは3～4月。





松本町1丁目緑地』 5月にはバラとスイカズラが咲きます。



『市野川桜堤』 吉見百穴が桜の名所のように言われることがありますが、正しくは百穴の前にある桜堤にたくさんの植栽されています。百穴の中は数本植栽されている程度です。



桜(市野川桜堤)





市野川桜堤



市野川から工場を望む



吉見百穴(ひやくあな)』

「ひゃっけつ」の方が呼びやすい気がしますが、「ひやくあな」と読むそうです。





吉見百穴の売店』 おみあげの購入、食事(うどん、そば)ができます。



吉見百穴』 この穴は古墳時代後期の人たちのお墓だそうです。考古学が発達していなかった明治時代にはコロボックル人の住居だといわれていました。第二次世界大戦末には軍需工場(エンジン製造部門)として使われました。



ヒカリゴケ(吉見百穴)』 柵がしてあってその中で何か光っています。これが国の天然記念物、準

絶滅危惧（NT）ヒカリゴケだそうです。この光は自分で発光しているわけではなく外からの光を反射しています。



坑道(吉見百穴)』 フラッシュをたいているので明るく見えますが、実際は暗く、ひんやりしていて、少しブキミです。機械、設備などはありません。ただ坑道と照明があるだけです。奥の方は柵があり実際に見れる部分は1/10以下です。



石棺(吉見百穴)』 服飾品や遺体はありません。ベッドの形に削られた石のみです。





吉見百穴



展望所(吉見百穴)



石室観音





石室観音



『不動橋のコアラ』 なぜか橋の親柱にコアラがいます。[埼玉県子ども動物自然公園](#)にコアラがいるのでシンボルにしているのかもしれませんが。



不動橋





八幡橋』 この付近から岩鼻運動公園に入ります。



陸上競技場(岩鼻運動公園)



自由広場(岩鼻運動公園)』 岩鼻運動公園には自然散策ができる小径があります。





カラマツ(東松山野球場)』 カラマツは普通、高木で葉やシュートの観察はしづらいのですがこれは高さが低いので良く見れます。



カラマツの葉





カラマツの幹



一本松橋付近



一本松橋





天神橋付近の桜堤』

この写真は5月です。4月にはきれいに桜が咲いているはずですが。



天神橋



天神橋

今日はここで終了。次回は川幅日本一に行きたいと思います。

川幅日本一、道の駅

今回は、川幅日本一を見て、道の駅で遊んで帰るコースです。私は6月に歩きましたが、イチゴの季節に行ってイチゴ狩りを日程に入れると良いかもしれません。(もしくはポピー、コスモスの季節に行くのも良いです)

東松山駅から川幅日本一はかなり遠いので行きは路線バスを使用し、帰りは徒歩としました。



御成橋』 バス停(御成河岸)を降り東に歩くとすぐに橋が見えます。これが川幅日本一に架かっている橋です。川原の中のはずですが、田んぼや民家が見えます。川の水が見えません。



御成橋から見た荒川』 東に向かって歩いてゆくとやっと水面が見えました。川幅日本一のわりには水量が少ないように思います。前に見えるのは「滝馬室冠水橋」です。糠田橋はもっと遠くにあります。時間があれば糠田橋の方も見ていくと良いでしょう。





『川幅日本一 鴻巣市側ポール』 お目当ての川幅日本一のポールにつきました。記念写真を撮るには良い場所だと思います。ここでの川幅とは河川敷を含め、国土交通省が認定したそうです。



『県道27』 今度は西にきた道に戻って、もうひとつのポールに向かいます。川幅は2.5キロメートルぐらいあるので結構遠いです。トラックがビュンビュン通るので注意してください。





県道27』 まだポールが見えません。もうひとがんばり。



クマノツツラ



クマノツツラ【熊葛】 馬鞭草（バベンソウ）の名で古くから漢方薬として使われた花です。属名のバーベナは 「祭壇を飾る花」 の意味で、ヨーロッパではハーブとして利用されてきました。
。 花期は6～9月 クマツツラ科クマツツラ属



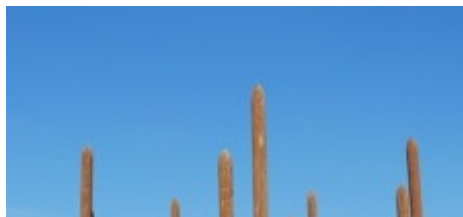
『川幅日本一 吉見町側ポール』 川幅日本一とは水量が設計最大値になった時の水面の幅。ほんとうに理論値の最大まで水量が増えたならば川原の中にある民家や田んぼに甚大な被害があるはずなので計画高水位になることはまずないのだと思います。正確には川幅日本一、2537メートルはここより上流360メートルだそうです。



『コカコーラ・イースト・ジャパン・プロダクツ』 道の駅と道路を挟んで向かい側にコカコーラの工場があります。



『JA吉見町直売所(道の駅)』 「道の駅・いちごの里よしみ」の中にはJAの直売所があります。新鮮な野菜や鉢植えが販売されていました。





『円形広場(道の駅)』 中央にある道の駅のモニュメントです。名物「いちごソフトクリーム」はお店が改装中だったので食べられませんでした。昼食をとるのでしたら、いちごの里・物産館でうどん、そばを食べれます。開店は11時なので早くきすぎたらもう一つの建物の方でパンにすると良いです。売店兼休憩所なので中で食べれます。



『もみの丘(道の駅)』 この道の駅のめだま、ローラー滑り台です。





わんぱく広場(道の駅)』 こんな遊具もあります。

道の駅で遊んだなら次は天神沼、大沼に向かいます。



馬頭観音(天神沼)』 本来は、観音菩薩の化身の1つであり、六観音の一尊です。民間信仰では馬の守護仏として、あるいはあらゆる畜生類を救う観音ともされます。馬が急死した路傍や馬捨場などに馬頭観音が多く祀られ、動物供養塔として建てられることが多いです。



名前不明』 天神沼の土手に知らない花が咲いていました。この周辺では多いようです。





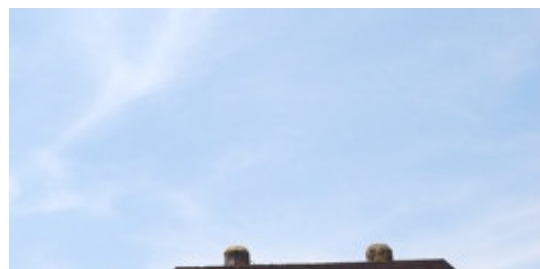
名前不明



天神沼』 周りの道路から水面が見えないのでここが天神沼だとは分かりにくいと思います。土手は滑りやすいのでこの階段を上ります。



天神沼』 天神沼と大沼は農業用の貯水池です。





『天神沼』 もう少し先に看板があってここから天神沼に入りやすくなっています。



『大沼の東側』 大沼の東側には看板とあずま屋があります。沼の名前が、天神沼、大沼、下沼と武蔵野丘陵森林公園内の沼と同じになっています。沼の名前、橋の名前はハイキングのチェックポイントになるのでユニークで親しみやすい名前が良いです。観光資源と考えるのであればネーミングも重要です。



『大沼』 大沼は水面が見える場所が少ないのですが、ここは水面が見えます。この場所をうまく活用して景勝地をつくと良いかもしれません。水面の方にせり出したウッドデッキを作り、テ

ーブルとベンチをおくとか。お弁当を広げられる場所がほしいです。沼の中央に橋を架けるなんかも良いかも。



大沼の西側



オドリコソウ』 花期は4～6月 シソ科オドリコソウ属／多年草



オドリコソウ



松山城址』 この看板は見落とししやすいので注意。この階段から登っていきます。夏は草ボーボーの斜面を登っていかなければならないので、散策するのであれば冬の方がいいかもしれません。



松山城址』 ここが本郭、説明のプレートと石碑、建物の址らしき石の土台があります。



松山城址

ここでハイキング終了です。

帰りに食事していくのであれば国道407沿いに「[わいず](#)」(もんじゃ・お好み焼き)、[「とんでん」](#)(

和食)、[「すしおんど」](#)(まわり寿司)、[「ステーキガスト」](#)があります。東松山駅近くの[「安楽亭」](#)(焼肉)もあります。

コスモス畑、糠田橋

今日は、道の駅を起点にしてコスモス畑→吉見総合運動公園→糠田橋→御成橋→道の駅に戻ってくる経路です。交通は東松山駅からバスで道の駅に行くのが良いと思います。コスモスまつりは10/18からですが、台風が来そうなので早めにコスモスを見に行きました。

[⇒吉見総合運動公園付近の地図\(埼玉県・吉見町\)](#)



『コスモス畑(10月)』 場所は道の駅から北に歩いててすぐコカコーラの工場の道路を挟んで隣です。



コスモス(10月)





タカサブロウ【高三郎】(10月)』 人の名前がそのまま植物の名前になっているめずらしいネーミングです。名前の由来は不明ですがもともとは人の名前ではなかったのだが語呂が変わり、人の名前に変化してしまったという説があります。



タカサブロウの花



タカサブロウの葉





『フレサよしみ』 イベントなどで使用される公民館です。



『吉見ふれあい広場』 ここは基本的に運動場です。陸上競技場、ジョギングコース、多目的グラウンド(野球、ソフトボール、ゲートボール)、テニスコート、ちびっことりでがあります。この日はサッカーの試合をしていました。



『吉見総合運動公園』 この看板が見える場所の左側が、南口に当たります。ここはとても広く、運動場+自然観察ができます。まだ増設中の所が多いので新しくできた公園なのかなと思いましたが、S57に8haの開設、現在183haが開設だそうです。運営しながら少しずつ拡張している公園です。



吉見総合運動公園』 中は 野球場、テニスコート、サッカー場、フットサルコート、パークゴルフ場などの運動施設、池や花畑、林などの自然散策できるエリアがあります。植物は、スイセンや菜の花、ヒマワリ、コスモスのエリアが充実しています。私が行った時には水場を探してもなかなか見つからない。あったと思ったら水がでないとか、ジュースの自動販売機もみあたりませんでした(カフェと自動販売機は西の端、管理棟にあるが、とにかく遠い)。休耕田みたいになっている面積が多く、入口のゲートや公園外周部を囲う柵もないのでどこからどこまでが公園なのかよく分からない状態でした。とにかく広く、無料、いろいろな運動設備が充実しているので整備が進めばすてきな公園になると思います。 ※森林公園が304haと言われているのでそれには及びませんが2/3ぐらいの広さです。



吉見総合運動公園(2月)



糠田橋(ぬかたはし)』 昔は、「糠田の渡し」という渡舟があり、その代わりとして作られた橋であることが名前の由来だそうです。





糠田橋の彫刻』 橋の両岸にはイルカのような彫刻が付いています。



糠田橋より』 遠方に白く真新しい堤防が見えます。最近工事した場所なのでしょうか？



『荒川の水門』 荒川の土手(御成橋付近)は遊歩道orサイクリングコースになっています。



『川原から見た御成橋』 河原の中に降りてそこから御成橋をみるとまるで「草原を走る高速道路」のようです。たしかに水の流れている場所はあるのですが、その面積は小さく、周囲は背の高い夏草が生い茂っています。



『滝馬室冠水橋(たきまむろかんすいきょう)』 この橋のすぐ上流に存在を強く主張する青い構造物があります。まるで抽象彫刻のようです。台風の際にまれに大破してしまうので橋を保護する働きをもたせたのだと思います。ちなみに冠水橋とは、大水の時に沈水してしまう橋のことです(大水の時に人が通れなくなるが沈水しても壊れないように設計されている)。御成橋も昔は沈水橋だったそうです。





『荒川の河原』 河原の中は休耕田みたになっている面積が多いです。一部畑になっています。



『オオオナモミの花』 花びらがないので咲いているか咲いていないか分かりにくい花です。よく見ると先端が尖っていて濃い緑の雌花と白っぽく先が丸い雄花があります。





オオオナモミの実』 トゲの先端がカギのように曲がっていて、マジックテープの原理で人の衣服や動物の毛にまとわりつき種子を散布します。いわゆるひっつき虫です。



オオオナモミの葉』 茎や葉には荒い毛がたくさん生えていてごわごわした感じがします。



河原から見た糠田橋』 河原を散策して糠田橋まで戻ってきました。今日は疲れたので道の駅からバスで帰りました。次回は八丁湖に行ってみたいと思います。

ガガイモ



ガガイモの実(コカコーラ工場付近・2月)

花まではよく見られますが、果実はなかなか見つからない気がします。花が咲いた時点で引き抜かれてしまうのかな。実を乾燥したものを生薬で、羅摩子（らまし）と言います。



ガガイモの実(内側)

実が熟すと2つに割れて中からタンポポの綿毛みたいなのが出てきます。この写真は種がすっかり落ちてしまった状態。



ガガイモの実(外側)

八丁湖、ポンポン山

今回は吉見観音を通り、八丁湖とポンポン山を見てきました。吉見町には電車が通っていないのでバスで行くこととなりますが、八丁湖付近に行くバスは1日に3本しか通っていません。森林公園駅から吉見町巡回バス・西コース(道の駅行き)に乗り、西農協前バス停でおります。マイカーのある方はその方が良いかも知れません。駐車場はポンポン山に専用の駐車場(無料)、八丁湖に町営駐車場があります。

[⇒八丁湖付近の地図\(埼玉県・吉見町\)](#)



安楽寺(あんらくじ)



吉見観音(よしみかんのん・安楽寺)



安楽寺三重塔



『**八丁湖公園**』 自然観察やお散歩には良い場所だと思います。沼の周囲を1周する遊歩道(ジョギングコース)、4つの自然探勝路(丘陵コース、自然植物観察コース、野鳥観察コース、トレッキングコース)があります。公園内には黒岩横穴郡という史跡もあります。



八丁湖ジョギングコース(10月)』 沼周囲にはカエデなどが植林されていて紅葉を楽しむことが出来るようになっていました。午前中の方がきれいな写真が撮れるので先に紅葉を見て、午後から森で自然散策がお勧めです。ライトアップはあまり期待しない方がいいかも。※八丁湖ヒーリングナイト(紅葉のライトアップ)は2014/11/14~11/16です。



八丁湖



八丁湖木道』 沼には水生植物を観察できる水面に張り出した木道があります。この周辺には外食できる場所やコンビニはほとんどありません(そば屋が1軒あるぐらい)。沼の周囲に東屋があるので昼食はそこでお弁当が良いと思います。売店(休憩所)があるのですが閉鎖されていました。せ

めて無料休憩所として利用できるようにしていただけると助かるのですが...



高負彦根神社(たかおひこねじんじゃ)』 ポンポン山は鳥居から3分ぐらい登った場所、この神社の境内にあたります。名前の由来は山頂に行く途中の斜面を強く足で踏み鳴らすとポンポンという音が出るから。



音が出る場所(ポンポン山)』 看板の場所から少し登った所が音が出る場所のはずですが、音はでませんでした。場所がここではないのか、あるいは地形が変わってしまい今では音がでないのか不明です。



ポンポン山からの眺望』 すぐに頂上についてしまいます。たいして登っていないのですが神社の北側が崖になっているためここからの見晴らしは良いです。ここは狭いのでお弁当を広げるのであれば八丁湖の東屋の方が良いと思います。



『シラカシの実(ポンポン山・10月)』 櫟の木の中まには、多くの種があるので難しいのですが、これはシラカシだと思います。葉の形が目安になりますが、殻斗(かくと; ドングリの座布団)の模様やドングリの形状を見るのが分かりやすいと思います。



シラカシの葉表



シラカシの葉裏



八丁湖付近の田園風景』 この付近は広い田んぼが広がっています。バスはなかなか時間が合いません。帰りは歩いて東松山駅まで行きました。※ちなみに森林公園駅にバスで帰るのであれば、八丁湖、吉見地蔵というバス停があります。

東松山ぼたん園(野田ぼたん園)

今回は、東松山ぼたん園に行ってきました。場所は東松山駅から4.5kmぐらいで徒歩で行けなくはないのですが、かなり大変です。私は行きに臨時バスを使用し、帰りはゆっくり歩きながら散策しました。

臨時バスは、西口の階段を降りてすぐ、道路の反対側に来ています。時刻表はなしでおよそ20分～30分間隔で運行しているそうです(2015年現在)。入場料は500円、バスの運賃は100円です。

[⇒東松山ぼたん園付近地図\(Yahoo\)](#)







箭弓稲荷神社にもぼたん園があります。こちらは駅から近いですが規模が小さいです。

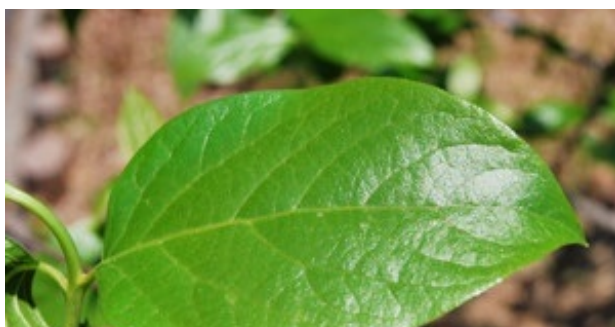
[⇒ぼたん祭りのチラシ](#)

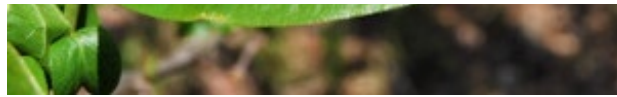


ロウバイ(東松山ぼたん園・4月)



ロウバイの実





ロウバイの葉表



ロウバイの葉裏



ロウバイの幹

オニタビラコ



オニタビラコ【鬼田平子】(大谷瓦窯跡・4月)
Youngia japonica {キク科オニタビラコ属／越年草}



オニタビラコの花序





オニタブラコの葉表



オニタブラコの葉裏



オニタビラコの葉腋、茎



大谷瓦窯跡(4月)



角川付近



東松平橋(滑川・4月)





天神橋(4月)



時計塔(岩鼻運動公園・4月)

吉見百穴と 川幅日本一

<http://p.booklog.jp/book/87196>

著者：なぎ

著者のweb <http://homepage1.nifty.com/x6/>

私が書いた書籍

[逆引き電子回路図集](#) 秀和システム/ISBN:978-4-7980-2605-3/A5 2色272ページ/2,625円(税込)

[電子部品図鑑](#) 誠文堂新光社/ISBN：978-4-416-10701-0/B5変形/256ページ/ 3,150 円(税込)

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/87196>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/87196>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパバー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ

| [*総目次\(ホーム\)](#) | [カタクリと見晴らしの丘公園](#) | [越生梅林・ふれあいの里山](#) | [森林公園・春](#) | [森林公園・夏](#) | [森林公園・秋](#) | [森林公園・冬](#) | [森林公園・もみじ見ナイト](#) | [天神山・鐘撞堂山](#) | [高麗川・巾着田](#) | [高麗川ふるさと遊歩道](#) |

| [電子工作](#) | [開発用言語](#) | [開発ツール](#) | [風景写真](#) | [ミクロの世界](#) | [製品](#) | [料理](#) | [パンク修理](#) |

| [\(7\)インフォメーション](#) | [\(8\)個人情報の取り扱い](#) | [\(9\)写真の問い合わせ](#) |